

# 子供が自由にのびのび 走り回れる家

「マイホームは心して選ぶもの」と  
初めての出会いで熱く語る小宮さんとの  
出会いから始まった我が家づくり



もみの木のフロアに木材の色調を生かしたインテリアが、暖かみ溢れる空間に仕上がっています。くつろぐ家族の姿が目に見え、やさしい雰囲気です。

昨年の夏、シヤスコ利府店の買い物帰りにふらっと立ち寄られたのが利府展示場。それまでは、家を購入する気は、なかったのですが、軽い気持ちでふらっと立ち寄ってみました。他のハウスメーカーから順番に見学して、多軒目で見飽きたところにパッと目にとまったのは、洋風の外観がとってもかわいらしいアヴェスホーム。

「そこで小宮さんと出会いました。住宅のすべての素材にはそれぞれの理由があるということ、例えばキッチンにも右利き用と左利き用があるということや、家相とはどういうものか、など親身に相談に乗ってくれました。小宮さんは、他のハウスメーカーも見て来て下さい」とおっしゃっていて、自社の商品に大きな自信をお持ちなのが伝わってきました。と主人。奥様からも購入の決め手は、水道、間取り、子供部屋の位置などの提案をはじめ、自己資金から購入の目安など、購入者の立場になって親切、丁寧にそして細かく提案頂いた小宮さんです。うれしいお言葉が。

次世代の住まい  
**CASE 17**  
宮城県多賀城市  
**Kさんの家**  
取材日/2010年10月17日



営業の小宮さんから提案を受けてつくった畳式の小上がり。45cm上げられた小上がりの下には、広い収納スペースが確保できる他、腰掛けるにも丁度良い高さ。冬は、火鉢を置いて家族団楽で過ごすそうです。

K様ご家族とは去年の夏から建築のお話をさせて頂きました。K様の家造りのきっかけは、当時一歳の長男S君がアパートの二階の部屋で階下の住人の方に遠慮して自由に走り回ることが出来ないのが自由のびのび走り回れるような家を造りたいという奥様の想いからでした。そして、この奥様の要望をコンセプトに家造りがスタートしました。K様の家が完成してお引渡しの当日、器具の取り扱い説明の最中、長男のS君がリビングからホール、ホールからリビングへと、元気に何周も走り回っていたのを見て、胸が熱くなりました。また、衝撃を和らげる体にあやしいもみの木の床がお家を造って頂いて本当に良かったとしみじみ思いました。玄関ホールニッチの家族三人の手形のレリーフと共に大切な私の思い出です。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

担当より一言



営業  
小宮

実際に家づくりを始められて、もっとも大事にしたのは、子供に制約させず、無理させず、雨の日でも家中走り回れる家であること。今この家に暮らしてみても、2階で子供の走り回る足音を聞くとしみじみ家を建てて良かったと思えます」と話されるご夫婦、やさしい心のこもった我が家を完成されました。



小上がり、リビング、ダイニングどこでも家族の姿が目に入るキッチン。白のスッキリとした印象のキッチンは、広くて使い勝手が良さそうですね。



玄関入ってすぐ正面の壁には、オンリーワンのご家族の手形レリーフが。引き渡し2週間前に、10回ほど塗り直ししながら作成されました。S君の成長を見守る、ご夫婦の温もりが感じられます。



蓄熱暖房機の上部にインテリアにもなる棚とスタンドグラスを配置。このスタンドグラスは奥様が高校生の時から憧れていた、イギリスのアンティークもの。棚の裏面は廊下になっており、廊下からの照明がさまざまな光を演出してくれます。



長男S君の子供部屋は、すっきりとした白い壁に、窓が4面設置されており、抜群の採光。将来、子供部屋を2つに区切れるように壁と2つのドアを用意。今は、プラレールが思う存分遊べるS君お気に入りの空間です。



**CASE17:宮城県多賀城市 Kさんのお宅**  
家族構成:夫・妻・長男(2歳)  
延べ床面積:39坪 部屋 3LDK  
こだわり設備:1階・2階とも全フロアもみの木+省エネ&健康塗壁



もみの木を床にふんだんに使用した広々とした多目的ルームには大きな格子調の窓が設置されていて洗濯物の出し入れがとてもしやすい。雨の日も気にせず洗濯ができて重宝しています、と奥様。

光の屈折が美しいチェッカーガラス。奥様こだわりの扉は、ぬくもりのあるむくの素材を生かしたドアとチェッカーガラスの組み合わせ。むく材は割れやすいので慎重に造ってもらったそう。



玄関のドアを開けると温かさを感じる暖色系の光が迎えてくれます。天井に映し出された花柄の影がより一層に、かわいらしさを演出。通気性を高めるためにクローゼット用の扉を玄関収納に採用。奥様のアイデアなんだそう。インテリアとしても素敵ですね。



二階のホールに設けられた多目的ルームは、ご主人の趣味が沢山。書斎としてカウンターでいつもパソコンをしているそう。将来は、勉強をする子供と並んで座る、家族全員の共有の場としたいそうです。

